

飯田自然エネルギー大学のご案内

1、大学趣旨

飯田自然エネルギー大学は、2004年から自然エネルギー（再生可能エネルギー）事業に取り組むおひさま進歩エネルギー株式会社（長野県飯田市）が2016年に開校しました。

太陽光や小水力発電、バイオマスなど、住民や地域事業者が主体となる地域主導型自然エネルギー事業に取り組む人や、新電力など地域のエネルギーマネジメントに携わる人の育成します。

2年間のカリキュラムを通じて、自然エネルギー事業に必要な幅広い専門知識と事業推進力を身につけ、全国各地で自然エネルギーによる持続可能な地域づくりが進むことを目指しています。

2、実施内容

(1) カリキュラム

監修：諸富徹教授（京都大学大学院経済学研究科）※本大学学長

おひさま進歩エネルギー株式会社

カリキュラムは、自然エネルギー事業を通じて地域の中で雇用や資金循環を生み出し、安心して暮らし続けられる持続可能な地域を増やしていくことに主眼を置いて編成しています。

2年間で全16回の授業を開催。講義と実地研修、事業計画作成の事例研究（演習）に取り組み、最終授業では、受講生全員が事業計画を作成して発表します。

- ・講義と実地研修、事例研究を組み合わせた2日間のプログラムを年8回、長野県飯田市を主会場に行う。
- ・講義カリキュラムは、飯田自然エネルギー大学学長の諸富徹教授（京都大学大学院経済学研究科）が監修。講師陣は、自然エネルギー事業の研究者をはじめ金融・法律関係者、事業者を迎える。
- ・講義1回ごと、講師が事前に出題する課題レポートを提出する。
- ・実地研修は、飯田市周辺や先進地域を訪問する（飯田市から離れた地域を訪問する場合、現地集合となる場合がある）。
- ・事例研究は、受講生の事業構想をもとにグループワークで事業計画を作成する。
- ・最終授業は、受講生全員が事業計画を作成して発表する。

(2) 講師

講義カリキュラムの講師予定者は、次の通り。

諸富徹(京都大学大学院経済学研究科 教授)

高橋洋(都留文科大学社会学科 教授)

竹濱朝美(立命館大学産業社会学部 教授)

東愛子(尚絅学院大学総合人間科学部環境構想学科 准教授)

川又孝太郎（環境省大臣官房環境計画課長）

竹ヶ原啓介(日本政策投資銀行執行役員産業調査本部副本部長)

千葉恒久（五反田法律事務所弁護士）

木村啓二(公益財団法人自然エネルギー財団 上級研究員)

安田陽(京都大学大学院経済学研究科 特任教授)

相川高信(公益財団法人自然エネルギー財団 上級研究員)

※このほか自然エネルギーの研究者や事業者、金融機関等の講師を予定しています

※参考資料として第2期生カリキュラムをご確認ください

(3) 主会場

飯田市旧飯田測候所 (長野県飯田市馬場町3-411)

※実地研修で自然エネルギー事業現場を訪問するなど、他会場で行う場合もあります

(4) 開催日程および第1年次授業内容

- ・年8回、1回につき2日間(土曜PM・日曜AM)授業を開催。
- ・講義は90分×2コマ実施。講義と、講師と受講生の双方向授業(グループディスカッション、質疑応答等)で構成する。
- ・年1回程度、実地研修含めて2泊3日授業を開催。

2020年度(第1年次)の開催日程は次の通り。

◆第1回 2020年5月30日(土)31日(日)

土曜/諸富徹(京都大学大学院経済学研究科 教授)

「再生可能エネルギーによる地域再生」

日曜/自己紹介(ブレスト)、菅沼利和(おひさま進歩エネルギー(株))

「地域に根ざした再生可能エネルギー事業の意義」

◆第2回 2020年6月27日(土)28日(日)

土曜/高橋洋(都留文科大学社会学科 教授)

「再エネ総論」

日曜/再生可能エネルギー実地研修

◆第3回 2020年7月18日(土)、19日(日)

土曜/川又孝太郎(環境省大臣官房環境計画課長)

「地域循環共生圏と再生可能エネルギー」

日曜/事業者講師による講義

◆第4回(2020年9月下旬) ※2泊3日で講義及び実地研修を予定

◆第5回(2020年10月下旬)

◆第6回(2020年11月下旬)

◆第7回(2021年1月下旬)

◆第8回(2021年2月下旬)

(5) 課題レポート

- ・講義の事前学習として、毎回、講義講師が出題する課題レポートを提出する。
- ・レポートは講師が5段階評価を行い、講義後に成績通知書を発行する。
- ・締切日時を過ぎて提出する場合、講師評価は受けられない。また、レポート受付は講義前日までとする。

(6) 修了証

2年間のカリキュラム修了時、一定の要件を満たした受講生には、飯田自然エネルギー大学を修了したことを証明する「修了証書」を発行する。

3、受講料・費用について

(1) 受講料

1年間につき3万円（各年次の授業開始前に全額納付する）

(2) 交通・宿泊費

受講生が各自負担する。

(3) 課題テキスト

受講生が課題テキストの購入を希望する場合、各自負担する。

【申込み・お問合せ】

一般社団法人飯田自然エネルギー大学

電話 0265-56-3713 / F A X 0265-56-3712

メール support@enedai.jp

担当 伊藤、菅沼